

# 10年後の 行方市を考えよう。



## 「行方市総合戦略書」を策定しました ～みんなで進めるまちづくり計画～

※総合戦略書は、全52ページにまとめられています。  
総合戦略書の内容と策定のプロセスは、市のホームページで確認することができます。  
総合戦略書の冊子をご希望の方は、ご連絡ください。

【問い合わせ】  
総合戦略課(麻生庁舎)  
☎ 0299-72-0811

### 総合戦略書とは

国では、急速な少子高齢化の進展による人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の過度の集中を避け、地域で住みよい環境を確保していくことを目指し、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、その後、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

その流れから各市町村は、独自の総合戦略策定に努めることとなり、本市においても、平成28年3月に行方市総合戦略書(以下「戦略書」)を策定しました。

### 行方市総合戦略書の特徴

今回の戦略書は、これまでの網羅的な計画書を見直し、重点的に進めるべき施策を中心に記載しています。

多くの市民の皆さんに、行方市を「自分事」として捉えてもらえるように、分かりやすい表現を意識して作成しました。また、市民一人一人が戦略書を「自分事」として考えることができるように、策定のプロセスから市民の皆さんが中心となって取り組みました。

市民の参画による「なめがた市民100人委員会」を設置し、無作為抽出による市民3千人の中から参加意思のある方に集まっていたら、4つの分科会に分かれて、市の課題と解決策を行政と共に考えました。

そして、「なめがた市民100人委員会」が中心となり、「なめがた未来のまちづくり協議会」、「行方市議会地方創生推進特別委員会」および「行方市まち・ひと・しごと創生本部」の市民・議会・行政が三位一体となって、市の課題を考え議論し、これから取り組むべき改善提案をしながらまとめました。

戦略書の実施期間は、平成27年度に取り組んでいることも盛り込んでいることから、平成27年度を初年度、平成37年度を最終年度とする11年計画とし、5年後の平成31年度に更新します。

### 行方市総合戦略書の概要

戦略書は、4つの章でまとめられています。

第1章は、「将来像」であり、行方市の現状や20～30年後の見通しを踏まえ、将来実現すべきまちの姿を示しています。

第2章は、「3つの基本理念」であり、行方市の将来像を実現するための基本的な考え方を示しています。

第3章は、「5つの重点プロジェクト」であり、行方市の課題を解決するために戦略的に取り組むべきことを示しています。

第4章は、戦略書の「成果に磨きをかけるために」、計画の実行と評価、管理と改善の方法を示しています(詳細は、6月市報に折り込みの概要版に記載しています)。

戦略書は、多くの方々が参加し、行方市の強みや課題を洗い出し、その課題をどうすれば解決できるか議論してまとめられました。

そして、戦略書は、3町合併から10年間継続して培ってきた「市民力」を背景に、「若い世代が将来に希望が持てるようなまち」を目指し、市民、地域、行政が同じ目標に向かって、行方らしい価値観を市民の皆さんと共有できるようになまちづくりを進めるための指針となるものです。

みんなで作った今後10年間の戦略書。みんなで実行していくために、どのような意見が出されてきたのか見てみましょう。

**第1分科会（農業その他産業・雇用、観光に関する事業）**

**【提案】**

- ・市の特産品にブランド力をつける
  - ・農業の担い手となる後継者育成
  - ・行方市の観光資源の再発見
  - ・積極的な企業誘致 など
- 【市民の取り組み】**
- ・家庭内での地産地消の実践
  - ・農地集約化への積極的な協力
  - ・行方市の歴史・文化を知る
  - ・地場産業への関心を高める など



**第2分科会（健康・福祉・高齢者に関する事業）**

**【提案】**

- ・広域での対応による医療不安の軽減
  - ・地域で人とのつながりを深める
  - ・個人が健康への関心を高める施策
  - ・地域で高齢者の見守りを行う など
- 【市民の取り組み】**
- ・自分の健康は、自分で守る
  - ・介護者の地域行事への参加を進める
  - ・「障がい者」という垣根をなくす
  - ・かかりつけ医を持つ など



**第3分科会（地域づくり・公共交通・公共施設に関する事業）**

**【提案】**

- ・新たな公共交通網の整備
  - ・行政区におけるリーダーの養成
  - ・消防団の体制の見直し
  - ・重複した公共施設の見直し など
- 【市民の取り組み】**
- ・公共交通について理解を深める
  - ・市民を中心にNPOを設立する
  - ・消防団活動への参加
  - ・公共施設の積極的な活用 など



**第4分科会（子ども子育て・少子化に関する事業）**

**【提案】**

- ・地域での預かり、学び合う場の構築
  - ・子育てコンシェルジュの実施
  - ・市独自のキャリア教育の実施
  - ・男性の育児参加の推進 など
- 【市民の取り組み】**
- ・地域で協力し合える関係づくり
  - ・子育てコンシェルジュへの立候補
  - ・家庭内分業の推進
  - ・移住者との積極的な交流 など



※戦略書の進捗状況を確認するために、無作為で選んだ市民千人を対象に「市民意識調査」を実施しますので、ご協力をお願いします。